

## 9月 GRLP IMDコース開催

9月25日～29日の5日間、逆風下の変革リーダーシップ養成講座(Global Resilient Leadership Program: GRLP)を開催しました。今回は、金融、商社、製造、サービスなど、あらゆる業種から25名の参加者を迎え、日本橋コレドにオープンしたばかりの早稲田大学社会人教育キャンパスのWASEDA NEOでの開催です。

GRLPはすでに2014年の開始から第5回を迎えています。たゆまぬ進化を目指して毎回新しいことにチャレンジしています。今回のチャレンジは、講義コンテンツに新しい2つの切り口を加えたことです。1つはルノー日産アライアンスの秘訣を説くレクチャーと、もう一つは、リーダーシップにおいて日本人が不得手とするコミュニケーションスキル「Assertiveness (積極性)」を教えるレッスンを加えたことです。新コンテンツを含め、今回の受講者評価もほぼ満点の好評を博しています。

加えて、GRLP運営面におけるチャレンジとしては、運営オペレーションの外部委託を大幅に内転化し、大きな原価低減効果を上げました。



Assertiveness を講義するIMDのジェニファー教授。Assertiveness って何？この言葉を初めて聞く受講者も多かった...



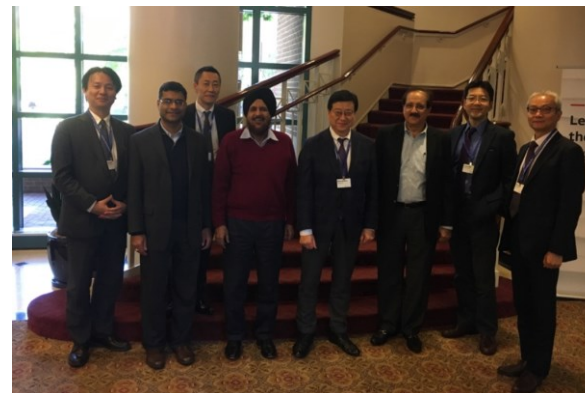
ルノー日産アライアンスを講義する早稲田大学池上先生。後ろにあるホワイトボードをよく見てください、「なぜR&Nアライアンスがうまくいっているのか？」という問いかけが書いてあります。

## 10~11月 米国ビジネススクール訪問調査

10月末から11月頭の一週間で、米国のビジネススクール3校を訪問しました。主目的はGRLPパートナーであるペンシルベニア大学Wharton校との、今年の講義内容の打ち合わせです。近年強まってきたリーダーシップ要素として「ガバナンス」「倫理」「ダイバシティ」などを取り上げ、プログラムへの組み込みを論議しました。12月のWhartonコースでは、Wharton教授陣が大枠のコンテンツは踏襲しつつ、新しい要素をどう組み入れて来るか楽しみです。

2つ目の訪問先はMIT Sloanです。ここでは、GRLPのキーワードである「Resilience(復元力)」について、同概念による企業マネジメント理論の権威Sheffi教授と論議しました。Resilienceを冠する教育プログラムを主催する財団として、この概念を深く理解する機会は大変有益でした。

3つ目の訪問先は、ハーバード大学ビジネススクールです。ここでは同スクールのエクステンション機能(MBA以外の子供や社会人教育)を聞きました。日本のエクステンションと大きく異なる点は、現役社会人に対するIT,コンピューティングなど先端職業訓練マーケットの大きさです。アメリカの産業競争力を支える底力は、こういう人材育成機能にあったのかと、衝撃を受けました。



Wharton校と早稲田大学の教授陣と、Whartonのエクゼクティブ教育施設のホールにて



MITのシンボル、Great Dome前で、卒業生風に...